

触法障害者支援に関する実践報告 ～地域生活支援と再犯防止に向けた司法と福祉の連携～

膨らんだ梅の蕾に春を感じる平成 30 年 2 月 15 日（木）今日のテーマは「触法障害者支援に関する実践報告～地域生活支援と再犯防止に向けた司法と福祉の連携～」でした。

今回の支援研究会は、障害のある M 氏が事件を起こし、逮捕、服役、そして出所し再び地域で生活し始めた経緯の中で、M 氏を支援してきた関係機関の方々に発言者となって頂きました。

最初に平和通り法律事務所 弁護士 柴田 裕之さんから「触法障がい者の刑事弁護」と題して、“身柄事件（逮捕・勾留された）の流れ”や“入口支援* 北九州市のスキーム”についてお話して頂きました。

被疑者に対して、最初に話をするのは弁護士であり、その弁護士が“障害があるかどうか気付き、北九州市障害者基幹相談支援センター（以下、基幹支援センター）に連絡して連携”することが重要であり、司法と福祉等の関係機関の連携が不可欠であるため、「施設入所している方が、万が一逮捕された場合は、基幹支援センターに連絡をして、入口支援のスキームに則り、弁護士に早くつながる動きを取って頂きたい」とのことでした。

その理由として「逮捕直後は面談に制約があり、すみやかに弁護士が選任されれば、福祉関係者も面会できるようになり、柔軟に対応しやすい」とのことです。

また、今までの反省点としては、「障害があることに気付かず、逮捕されてから弁護士が選任されるまでに時間が掛かっていた等課題も多く、今後も障害特性の理解を深める等、研鑽を積んで触法障害者の弁護に役立てたい」とのことでした。

続いて、M さんが出所して最初に関わられた事業所 自立支援あろうだ 管理者 河津 誠さんから「触法障害者支援実践報告」と題して“M 氏への取り組み”“再犯防止の個別支援計画のポイント”等をお話して頂きました。

M さんの支援に関しては、「基幹支援センターが中心となって各機関間の調整を行い、一つの事業所に責任が集中しないようにしていたので不安はなかった」との説明でした。

再犯防止の個別支援計画のポイントとしては、「ひとりよがりにならないで チームアプローチを重視すること」「今後支援の中心になる人が増えて、一緒に関われる事業所が増えていけば、もっと支援に乗る人がいる」とのことでした。

次は、グループホーム東大谷 管理者 樋口 文夫さんから「M 氏との関わりと支援について」と題して、M さんと取り組んだ 3 つの取り組み「①グループホームで何をしていたか ②自分で生活の質を上げるには ③罪を犯した意味について」等についてご紹介頂きました。

M さんの生活を支援するにあたり、24 時間体制ではないグループホームだけでは無理なケースと思われたけれど、「各関係機関が共通認識を持ち、しっかり関わってくれたので、M さん本人も多くの方から支えられている自覚が出来て、M さんの生活が守られたのではないか」とのことでした。

最後に、現在 M さんが入所している 障害者自立訓練施設 飛翔館 施設長 田中 英親さんから「触法障害者の受け入れについて～M 氏の事例を通じて～」と題して、支援内容等についてお話して頂きました。

M さんを受け入れるにあたり、最初は不安があったそうですが、不安軽減のために「手厚く関係者で確認・共有ができ、顔が見える連携がされ不安が軽減した」とのことでした。

また、自立訓練施設は利用期間が原則 2 年間なのですが、退所した後の再犯への不安要素があるとのこと。これらが払拭できるように「今後も連携をいかし、定期的に支援機関と情報共有や協議・検討を行っていききたい」とのことでした。

北九州市障害者自立支援協議会では、“触法障害者支援研究会”を立ち上げ、司法および福祉等関係者と、触法障害者への支援のあり方を協議し連携を図っていくことを目的に、軽微な犯罪を繰り返す知的・発達障害者への「入口支援」について試行的に取り組んでいます。この“障害者地域生活支援研究会”でも、『触法障害者』をテーマに取り上げ、司法および福祉等関係者以外の皆様にも、触法障害者への理解や協力を求めていきたいと思っておりますので、今後ともご参加頂ければ幸いです。

尚、本日の参加者 64 名。新規の方は 20 名でした。ありがとうございました。



*入口支援

知的障害者など不起訴(起訴猶予)が想定される被疑者において、その刑事司法の入口の段階で、社会福祉士の意見を聞き参考にする制度。社会福祉士は該当する被疑者と面談し、保護者・住居・生計など必要な支援を検察官に助言、検察官はそれを参考に最終的に起訴・不起訴などの処分を決める。出所後の「出口支援」が行き届かず再犯を繰り返す知的障害者や高齢者が多いことから、新たな支援策として注目を集めている。※コトバンクより引用・抜粋




※こちらの議事録は
北九州市障害者自立支援協議会の
ホームページでもご覧いただけます。
<http://kitakyushu-net.shienr.com/>


